

令和3年1月14日

保護者様

富士市立丘小学校  
校長 小林 真人

## 令和2年度学校評価アンケート結果の報告

1月に入り、進級や卒業を意識し始めてきた子どもたちです。今年度もまとめの時期になりました。保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

全校児童及び全ての保護者、教職員を対象に実施した「学校評価アンケート」の結果がまとまりましたので、報告いたします。アンケート結果から、本校の教育活動の成果と課題が見えてきました。紙面の都合上、結果の一部のみを扱っています。本校ホームページ(<http://www2.city.fuji.shizuoka.jp/~p-oka/>)においても公開しますので御覧ください。この結果を今後の丘小の教育活動に生かしていきたいと思っております。保護者の皆様、今後ともどうぞ御協力をよろしくお願いいたします。

《児童アンケート集計結果より》

	1(そう思う)と2(どちらかというと思う)の全校の合計	昨年度	一昨年度
	↓		
①学校は楽しい。	<b>96.6%</b>	84.8%	89.1%
②学校の友達と仲良くできている。	<b>97.9%</b>	82.2%	91.9%
③先生や友達の話をしっかり聴いている。	<b>93.3%</b>	87.0%	86.8%
④勉強することは楽しい。	86.2%	76.8%	79.7%
⑤学校の授業は分かる。	<b>95.3%</b>	79.3%	84.6%
⑥国語の授業は楽しい。	87.1% (新規)		
⑦友達の考えを聴いて自分の考えを深めている。	85.7%	78.4%	82.2%
⑧毎日家庭学習をしている。	<b>90.4%</b>	83.7%	86.1%
⑨勉強や生活にめあてをもって取り組んでいる。	83.8%	74.1%	75.5%
⑩進んで読書をしている。	76.5% ↓	77.9%	71.3%
⑪身の回りの整理整頓をしている。	79.1%	71.1%	72.5%
⑫黙って掃除をしている。	89.6%	72.7%	69.6%
⑬困ったことがあったら先生に相談している。	81.6%	73.0%	74.9%
⑭丘の子の約束を守っている。	<b>92.5%</b>	88.7%	88.2%
⑮進んであいさつをしている。	<b>90.4%</b>	85.4%	79.9%
⑯正しい言葉遣いをしている。	81.5%	79.2%	75.7%
⑰自分にはよいところがある、と思う。	80.5%	70.0%	69.2%
⑱学校やクラスの仲間を大切に思っている。	<b>98.0%</b> (新規)		
⑲友達の良いところや頑張っているところを見付けられる。	<b>92.3%</b> (新規)		
⑳進んで外遊びをしている。	80.3% (新規)		
㉑怪我に気を付けて生活している。	<b>90.0%</b> (新規)		
㉒朝ご飯を毎日食べている。	<b>94.9%</b>	87.2%	90.6%

○ほとんどの項目が昨年度と比べて向上しました。自己肯定感を高める取組や、「黙って掃除をしよう」と学校全体で共通理解し声掛けを行ってきたことが着実に成果となって表れています。今年度の重点目標「認め合おう支え合おう」に向けて、各学級学年で、**クラスメイトの頑張りを認め合ったり良さを見付け合ったりする活動を意識的に行ってきたことが**、子どもたち同士の温かな絆を生み、学習活動にもよい影響を与えていると感じます。

「**⑩学校やクラスの仲間を大切に思っている**」児童が**98%**という結果からも、良好な人間関係ができており、**96.6%の「①学校は楽しい」**につながっていると思います。

●昨年度に比べて唯一下がった項目は「**⑩進んで読書をしている**」です。考えられるのは、朝活動における読書活動の時間を減らしたことが考えられます。本校では今年度、授業時数確保のために初めてモジュールを取り入れました。朝活動（8時～8時15分）の時間を使って3回授業を行うことで、授業時間1回分としてカウントしています。朝活動の内容は、「朝礼や集会」「運動」「読書」「モジュール（授業）」がありますが、昨年度に比べて「読書」の時間を減らし「モジュール（授業）」を増やしたことで、読書の機会が減り、進んで読書しようという気持ちも若干下がってしまったのかもしれませんが。

△子どもたちの評価の中で2番目に**低かった項目は「⑪身の回りの整理整頓」**でした。

児童 79.1% 教員 50.0% 保護者 40.0%

教員アンケートや保護者アンケートと比較すると、やはり大人の目から見ても、身の回りの整理整頓があまりできていないことが分かります。校内の事故にもつながりますので、学校でも家庭でも心掛けていけるよう支援していきましょう。

《児童と大人のとらえで大きく差が出ていたもの》

・ **友達と仲良くしている**

そう思う児童 75.5% そう思う保護者 49.5% そう思う教員 16.1%

保護者や教員が思う以上に、子どもたちは友達と仲良くしていると感じていることが分かります。

・ **先生や友達の話をしっかり聞いている**

そう思う児童 53.5% そう思う保護者 15.5% そう思う教員 6.5%

半数以上の子どもたちはしっかり話を聞いているととらえていますが、大人たちはそうは感じていないことが分かります。

・ **進んであいさつをしている**

そう思う児童 62.4% そう思う保護者 25.7% そう思う教員 6.5%

あいさつも、子どもたちは進んで行っていると感じていますが、大人たちはもう少しできてほしいと感じていることが分かります。

・ **正しい言葉遣いをしている**

そう思う児童 42.4% そう思う保護者 11.0% そう思う教員 6.5%

言葉づかいについても、同様な傾向が見られました。

大人たちが目指す高さ、子どもたちが目指している高さには違いがあると思います。子どもたちの努力も認めていきながら、もう一歩踏み出せる支援をしていきましょう。

《保護者アンケート集計結果より》

○「お子さんの成長について」抜粋

1年生

- ・時計を見て行動するようになった。・支度を全部自分でできるようになってきた。
- ・人見知りがなくなってきた。・帰ってきたら自分だけで宿題をやる習慣が身に付いた。
- ・自分で決めたことは最後まで頑張るようになった。・体力がついてきた。

2年生

- ・登下校や休みの日も仲良くする友達が増えてきた。・行動範囲が広がってきた。
- ・自分から進んで行動するようになってきた。・支度が早くなった。
- ・学校での様子を進んで話すようになった。・あいさつができるようになった。

3年生

- ・週末に遊ぶ約束をしてきたり、友達とのコミュニケーションが増えた。
- ・帰宅してすぐに宿題をやるようになった。・お金の管理を自分でできるようになった。
- ・留守番できるようになり、宿題や支度、手伝い、施錠するなど自立心が成長した。

4年生

- ・手伝いをしてくれるようになった。・友達が増え、行動範囲が広がってきた。
- ・人前で話す意欲が高まり、授業参観で見た感じ発表が増えた。
- ・思いやりの心をもって友達と接することができるようになってきた。

5年生

- ・感受性と好奇心が育っている。物事を客観的にとらえられるようになってきた。
- ・話し方に説得力が出てきた。・自己主張ができるようになってきた。
- ・委員会活動に責任感をもって取り組んでいる様子が伝わってきた。

6年生

- ・責任感をもち6年生らしい行動ができるようになってきた。
- ・規則正しい生活を心掛けている。・目標をもち、計画的に学習するようになった。
- ・親の手を借りずに自分のことは自分でできるようになってきた。
- ・昔と比べて自分の意志、自分の意見を伝えられるようになってきた。

いずみ

- ・身支度やかばんの支度が一人でできるようになった。
- ・苦手な算数への意欲が高まってきた。・宿題を頑張ろうとする気持ちが高まっている。
- ・おいしい給食のおかげで食べず嫌いが減った。

「できることがどんどん増えて感心している」という多くの意見が寄せられました。発達段階に応じて、学校・家庭・身の回りの社会から様々なことを学んでいることが分かります。また、臨時休業後、生活のリズムが戻ってホッとした、という意見や「学校は楽しいようです」という意見も多くうれしく思います。

○ 1 (そう思う) 2 (どちらかというと思う) の合計が高かったもの

友達と仲良く過ごしている	97.0%	朝ご飯を毎日食べている	96.1%
楽しく登校している	96.1%	悩みを相談できる人がいる	91.0%

●保護者の気がかりな点

3 (どちらかというと思わない) 4 (そう思わない) の合計が高かったもの

整理整頓ができています	60.0%
進んで読書をしています	54.1%
めあてをもって勉強や生活に取り組んでいます	38.6%

☆その他の御意見に対して

- ・オンラインで夜遅くまでゲームをしていて心配という意見が多くありました。ゲームの中でけんかをし、翌日の学校まで引きずることもありましたので、家庭においてもゲームやインターネットの約束をしていただきたいと思います。
- ・コロナ禍において、外で体を動かしたり遊んだりする機会が少なくなり、運動不足は見られます。読書への意欲も下がっています。授業時間の確保も必要です。限られた時間の中で、どの時期にどの力を育てていくかを検討しながら、朝活動の内容を決めていきたいと思えます。
- ・安心安全な学校を目指し、3密を避けられる形を工夫しながら、防犯意識の高まる講義や交通安全教室を実施できたらと考えます。
- ・荷物については、学年に応じて教室保管するものを決めています。できるだけ児童の登下校の負担にならないよう、年度初めに共通理解を図ります。
- ・冷房の導入により、猛暑中でも授業を行えるようになりました。しかし、教室の場所によって温度や風量に差があるようです。温度調節を図っていきます。
- ・丘小学校のホームページがリニューアルされ、学校での様子を載せるようにしていますので御覧ください。掲載を希望しないお子さんが映らないよう配慮しています。

《教員アンケート集計結果より》

- 課題を感じる点 3（どちらかというと思わない） 4（と思わない）の合計が高かったもの

怪我に気を付けて生活している	54.8%	（児童： 8.6%）
身の回りの整理整頓をしている	50.0%	（児童： 20.9%）
正しい言葉遣いをしている	48.4%	（児童： 18.5%）
友達の考えを聴いて、自分の考えを深めている	46.7%	（児童： 14.3%）

児童と教員のとらえの隔たりが大きかったものとして、怪我についての認識がありました。子どもたちの90%は「怪我に気を付けて生活している」ととらえていますが、教員の54.8%はそうではないと感じています。

昨年度、校内での怪我が増えてきたので、今年度は怪我を減らすための声掛けや働き掛けを昨年度以上にしてきました。現在のところ、病院に通うほどの怪我の発生数は昨年度と変わらないようです。しかし、走っていて転ぶなど運動不足によるものや、使用法を正しく守らなかったことが原因の怪我が多くなっています。

「友達の考えを聴いて、自分の考えを深めている」においても、子どもたちはそうとらえていても、教員はまだまだととらえています。「思考したことを表現する」ところまで目指していけたらと思えます。

ただいま、学校評価をもとに全職員で来年度の教育計画（教育課程）について検討しています。新型コロナウイルス感染症の拡大が今後どうなっていくのか見通せない中ですが、大切にしていきたいことは何なのかを明確にしながら作成していきます。

御覧になった皆様からも、御意見や御感想をいただけると幸いです。